

各拠点病院が取り組んでいるがん対策(2024年度)

1. がんの予防

①生活習慣(喫煙) ②生活習慣(飲酒) ③感染症対策(HPV) ④感染症対策(肝炎) ⑤感染症対策(HTLV-1)

①喫煙と肺がんに関する勉強会を開催する(個別施策①1-1)

2. がん検診

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について ②がん検診の精度管理等について ③受診率対策について

①検診事業は実施していない。二次検診について、患者に対する積極的な働きかけは行っていないが、指針に基づいた二次検診の受入体制を検討する。子宮がん検診について、那覇市医師会生活習慣病検診センターの精密検査医療機関名簿に登録を希望した。(個別施策①1-1)

3. がん医療提供体制

①医療提供全般 ②病理診断 ③がんゲノム医療 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥薬物療法 ⑦チーム医療の推進 ⑧医療実装

①中部病院から月に1~2回診察に訪れる内科医(腫瘍内科、血液・腫瘍科、放射線科)と連携する(個別施策①1-2)

③中部病院から月に1回来院するがん遺伝子パネル検査外来担当医と協力し、パネル検査結果を踏まえた治療を行う(個別施策③3-1)

④乳がん専門医を招聘し、月1回程度の専門外来を設ける(個別施策④4-1)

⑥呼吸器内科、薬剤師及びがん化学療法認定看護師でirAE委員会を月に1回開催している(個別施策⑥6-3)

4. 緩和・支持療法

①緩和ケア ②在宅療法 ③リハビリテーション ④支持療法 ⑤妊孕性温存療法

①問診票に痛みの項目を設け、スクリーニングを行う(個別施策①1-1)

②在宅療養を希望する患者に対して支援方法の情報を提供する(個別施策②2-1)

②訪問看護ステーションとの交流および研修会を定期的実施する(個別施策②2-4)

⑤妊孕性温存療法の案内を行う(個別施策⑤5-1)

5. 個別のがん対策

①希少がん ②難治性がん ③小児がん ④AYA世代のがん ⑤高齢者のがん ⑥離島・へき地

③当院CLSとも連携し、琉球大学病院または県立南部医療センター・こども医療センターに紹介する(個別施策③3-3)

④妊孕性温存療法の案内を含め、琉球大学病院に紹介する(個別施策④4-1、④4-3)

⑤療養場所の選択も含めて、すべての高齢者のがん患者に適切な意思決定支援及びACPを行う(個別施策⑤5-2)

⑥最新版の「療養場所ガイド」が刊行された場合は配布する(個別施策⑥6-1)

6. 共生

①相談支援 ②情報提供 ③デジタル化 ④就労支援(医療機関側) ⑤就労支援(職場側) ⑥アピアランスケア
⑦自殺対策 ⑧がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭

③病室にインターネット環境を整備する(個別施策③3-1)

③ 4月に金沢大学附属病院とオンラインでセカンドオピニオンを実施した(個別施策③3-2)

⑥琉球大学病院との共催で、患者向けアピアランスケア教室を開催する(個別施策⑥6-3)

⑥石垣市及び琉球大学病院と連携して、アピアランスケアの助成事業(6月市議会で補正予算案可決、8月事業開始予定)を進める(個別施策⑥6-3)

⑧ぬちぐーるやいま会(がん患者会)の定期的な開催を実施している(個別施策⑧8-1)

⑧ピアサポート活動に対する支援を行う(個別施策⑧8-1)

7. 基盤

①研究の推進 ②人材育成の強化 ③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 ④がん登録の利活用の推進
⑤患者・市民参画の推進

②乳腺外科、呼吸器外科の応援配置を継続する(個別施策②2-1)

②緩和ケア認定看護師を2名配置する(個別施策②2-1)

③八重山高校にタオル帽子の作成を依頼のうえ、「がんについての勉強会」を実施する

③9月に名桜大学から講師を招いて、院内外の医療者向け緩和ケア勉強会を開催する

③沖縄産業保健総合支援センター、石垣島の社労士及び当院の地域連携室のスタッフで勉強会を開催する(個別施策③3-7)

④がん登録の初級認定者職員の中級認定者取得を目指す(個別施策④4-1)